

事業推進の心 仮設労働安全新生プラン

## 「陽のあたる安全文化の創造」

もうよやう  
さとう  
めざやう  
おもひして暮らせる 心豊かな国創り

一人ひとりが発生要因を見つけ対応

建設業における全産業に占める労働災害の割合は減少傾向にあるとはいえ、依然として高く、とくに死亡災害は約4割を占めており、より一層充実した安全対策が重要である。また、最近では、安全を確保するには、危険の芽を事前に摘み取る「先取りの安全(対策)」が重要であると指摘されている。労働安全衛生マネジメントシステム(OH&SMS)の構築を進められている。いずれにしろ、一人ひとりが発生要因を見つけ出して対応していくことが大事だ。ともあれ、厚生労働省としても、ACCESSの活動目的と同じく、「安全文化の創造」に寄与していきたいと考えている。

無事故の会社は工事成績アップ

国土交通省では工事安全対策を強化するために、1996年から事故調査データベースに事故の内容を蓄積している。データは2,500件ほどあり、仮設業の関連では、足場の種類などに応じて分析している。

事故調査委員会では、このデータを参照して技術基準の改定などに役立てているところだ。

また、今年度は安全対策の重点項目として、手すり先行足場を採用するモデル工事を実施している。このほか、事故を起こした会社を指導停止する一方、無事故の会社は工事成績をアップするように、安全に対して積極的に評価している。

## 現場パト、精神的な援助を含め支援

命を大切にするという思想は、絶対になくなってしまうならない。こうした理念にもとづいて仮設製品を造っているACCESS組合員は、本当に頼もしい存在を感じている。

そうしたACCESSに対し、われわれ建設業も現場パトロールや精神的な援助を含めて支援していかたい。足場など仮設物は、建設物ができると無くなってしまうが、そうした仮設物に起因した労働災害を撲滅するためにも、仮設物の重要性をACCESSの努力で発注者にわかつてもらえるよう頑張っていただきたい。これからますますのご発展ご祈念を申し上げる。



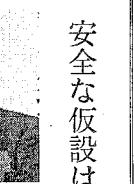
高橋元厚生労働省労働基準局安全部建設安全対策室長



黒谷邦国土交通省官房技術調査課課長補佐



高田孝保建設労働災害防止協会会長



長尾亮介議士

講演「安全責任はこう追求される～裁判事例より～」

長尾亮介議士

長尾亮介議士